

賛 助 会 員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) KANSO テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒141-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事のご投稿もお待ちしています。ご投稿に際しましては、第 69 巻 2 号の p.133-136 に掲載された最新の投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。新しい投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要項、投稿票については日本藻類学会の Web サイトからもダウンロードできます。(編)

編集後記

早いもので、編集委員長を拝命して二年が経とうとしております。任期もあと一年、70 巻の 1～3 号を仕上げれば、というところまで来ました。自分なりに頑張ってきたつもりですが、毎号報文のストックはほぼなく、自転車操業状態が続いております。毎号 10 報の報文掲載を目指したいところですが、現状は最大でも 6 報であり、会員の皆様のさらなるご投稿を切に期待する次第です。編集体制としては、DTP

作業の業者委託により委員長の業務負担はだいぶ軽減されましたが、一部の編集委員に業務が集中している部分があり、改革が必要と感じています。次期委員長も決めなければなりませんし、後一年でやれることをやって、バトンタッチしたいと思っています。私もそうでしたが、編集委員未経験者でも委員長になることは可能です。我こそはと思う方がおられましたら、是非ご連絡ください。

(芹澤 如此古)

表紙 エゾヒトエグサの配偶体

制作者：堀之内 祐介 (千葉大学海洋バイオシステム研究センター)

制作者より：北海道室蘭市の海岸にて撮影。エゾヒトエグサ *Monostroma angicava* は冬から春先にかけて巨視的な多細胞の配偶体 (単相世代) として観察されます。有性生殖で生じた接合子は微視的で単細胞のコディオルム体 (複相世代) に発生し、夏を越します。